

Title	富田重夫名誉教授略歴・著作目録
Sub Title	Chronology and bibliography of the writings of Prof. Shigeo Tomita
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1991
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.84, No.3 (1991. 10) ,p.732(200)- 733(201)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19911001-0200">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19911001-0200</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 富田重夫名誉教授略歴・著作目録

大正14年7月4日	岐阜に生まれる。
昭和13年4月	府立一中入学
昭和18年3月	都立一中（旧府立一中）卒業
昭和18年4月	慶應義塾大学経済学部予科入学
昭和20年1月	応召
昭和20年10月	復員，復学
昭和23年3月	慶應義塾大学経済学部卒業
昭和23年8月	慶應義塾大学経済学部助手
昭和32年4月	慶應義塾大学経済学部専任講師
昭和41年3月	経済学博士を授与される。
昭和41年10月	慶應義塾大学経済学部教授
昭和42年10月	慶應義塾大学大学院経済学研究科委員
昭和44年4月	早稲田大学第一政経学部非常勤講師（～50年3月）
昭和47年4月	英国ケンブリッジ大学訪問教授留学（～48年9月）
昭和48年10月	慶應義塾大学体育会自動車部部長（～平成2年9月）
昭和50年4月	文部省大学設置審議会専門委員（～56年12月）
昭和53年1月	大学基準協会，経済学部教育研究委員会委員（～55年10月）
昭和56年12月	法務省司法試験第二次試験考査委員（～平成3年12月）
昭和56年3月	特許庁弁理士審査臨時委員（現在に至る）
昭和61年4月	関東学園大学非常勤講師（～平成1年3月）
平成1年4月	聖学院大学非常勤講師（～3年3月）
平成3年3月	慶應義塾大学経済学部を定年により退職
平成3年4月	慶應義塾大学名誉教授
平成3年4月	聖学院大学政治経済学部教授（現在に至る）

### 所属学会

昭和24年～現在	理論・計量経済学会会員
昭和24年～現在	日本経済政策学会会員

### 著作目録

#### 1. 著 書

- 『経済原論』学文社（共著）初版昭和34年，第3版昭和47年  
『日本における経済学の百年』上巻，日本評論社（共著）昭和34年  
『正統学派・限界主義及びマルクシズムの体系的理解』日本評論社，昭和36年  
『現代経済理論のエッセンス』ベリかん社（共著）初版昭和40年，増補版昭和45年  
『経済学方法論』日本評論社，昭和41年  
『経済学方法論の諸問題』東洋経済新報社（共著）昭和42年  
『家庭経済学—消費の経済理論—』学文社，昭和42年  
NHK大学講座『経済学』日本放送協会（共著）昭和44年  
『経済原論』世界書院（共著）昭和45年，第33版 平成2年

『理論経済学講義』青林書院（共著）昭和46年  
『現代経済学の思潮』秀潤社（共著）昭和48年  
NHK大学講座『現代経済学の潮流』日本放送協会（共著）昭和50年  
『経済学』慶應通信（共著）昭和56年  
『経済学』私立大学通信教育協会（共著）昭和59年  
『経済学方法論』増補版，日本評論社，昭和61年  
『経済原論講義要覧』慶應通信，平成元年

## 2. 学術論文

「「物質主義定義」と「稀少性定義」の思考様式における差異」、『三田学会雑誌』第43巻，第3号，昭和25年  
「稀少性原理と先験主義」、『三田学会雑誌』第44巻，第8・9号，昭和26年  
「経済法則の論理的 성격及びその妥当性に関する若干の考察」、『三田学会雑誌』，第46巻，第5号，昭和28年  
「実践的価値判断の論理的基礎—M. ウェーバーの没価値性理論を中心として」、『三田学会雑誌』，第47巻，第9・10号，昭和29年  
「厚生経済学と倫理的価値判断」、『三田学会雑誌』，第48巻，第8号，昭和30年  
「経済理論の歴史性」、『三田学会雑誌』，第48巻，第9号，昭和31年  
「経済学における精密法則の論理的妥当性と現実適用可能性」、『三田学会雑誌』，第50巻，第5号，昭和32年  
「経済理論における経験と論理—マルクシズムの認識を中心として」，慶應義塾経済学会，『経済学年報』2，昭和34年  
「二部門モデルにおける分配率の決定」、『三田学会雑誌』，第57巻，第1号，昭和39年  
「新古典派定理と最適分配率」、『三田学会雑誌』，第57巻，第6号，昭和39年  
“The Determination of Distribution Shares in a Two-Sector Model”，*Keio Economic Studies*, Vol. II, 1964.  
「M. ウェーバーの方法論における「主観性」の現代的意義」、『三田学会雑誌』，第60巻，第6号，昭和42年  
「経済理論の検証について（再論）—特にK. R. ポパーに関連して—」、『三田学会雑誌』，第62巻，第1号，昭和44年  
「J. ロビンソン—新古典派との対決」、『経済往来』，第27巻，第6号，昭和50年  
「戦争と独占」、『三田学会雑誌』，第70巻，第2号，昭和52年  
「リカードとケインズ—自然価格と市場価格との関係を通じて」、『三田学会雑誌』，第76巻，第4号，昭和58年  
「現代経済学の方法論的反省」、『経済評論』，第36巻，第5号，昭和62年  
「マーシャル経済学の特質と意義」、『三田学会雑誌』第84巻第1号，平成3年4月

## 3. そのほか

（翻訳書）

『マクロ分配理論』学文社，初版昭和48年，増補版昭和57年

（書評）

「ペルトラン・ド・ジュウヴェネル『再分配の倫理』」、『日本経済政策学会年報』Ⅲ 1955年  
「馬場啓之助『マーシャル』」、『三田学会雑誌』，第55巻，第4号，昭和37年  
「大野吉輝『巨視的分配理論』」、『三田学会雑誌』，第59巻，第1号，昭和41年